

ワークショップ（2回目）の進め方について

1 目的

前回会議（R2.10.6（火））では、6グループ（ひと、もの、まち）に分かれて、ワークショップを通して本市の「魅力と課題」について整理した。本日も引き続き、前回整理した内容をもとにワークショップを行い、これから目指すべきまちの姿について意見交換を行い、アイデア等を取りまとめていく。

2 内容

(1) グループの内容

ア「ひと」とは

地域づくりや教育、スポーツ、産業など、さまざまな分野に携わる「ひと・人材」に焦点を当て、意見交換を行う。

イ「もの」とは

農林水産業や工業、商業における商品・製品等の生産・販売のほか、医療・福祉サービスの提供など、「産業・経済」に焦点を当て、意見交換を行う。

ウ「まち」とは

観光や交通体系、道路網、施設などの「公共インフラ」や、豊かな山・川・海などの「資源」も含めた都市基盤に焦点を当て、意見交換を行う。

(2) 進め方

ア 【前回会議】では、「ひと」「もの」「まち」のテーマ毎に「魅力と課題」について、「魅力を活かしてできること」、「課題を克服するために成すべきこと」について意見交換を行い、各班ごとに発表する。※前回実施済

イ 【今回会議】では、前回整理した本市の「魅力と課題」を元に、これから目指すべきまちの姿について意見交換、アイデア等を取りまとめ、各班ごとに発表する。

ウ ワorkshopにおいて整理された内容については、分野別に施策を整理する際に、分科会等において施策の具現化を検討し、次期総合計画に反映していく。

3 ワorkshopのテーマ

(1) 令和2年10月6日（火）開催済

「まちの魅力と課題を整理しよう～これからのまちづくりに向けて～」

(2) 令和2年11月12日（木）開催

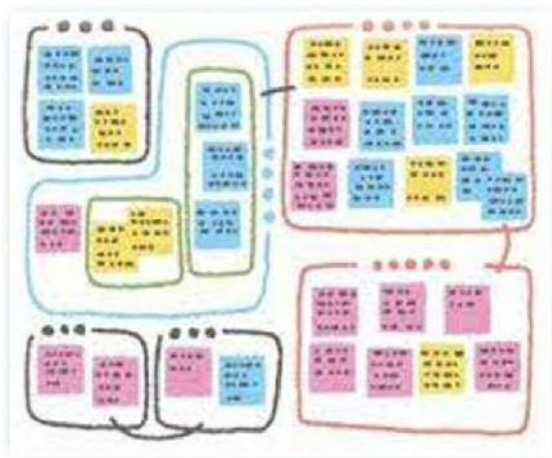
「光市が目指すまちの姿とは～未来の我がまちをデザインしよう～」

4 ワークショップの手法

前回同様、KJ法において実施

【KJ法とは】参加者各自の意見をカードに記入し、分類しながら模造紙に貼っていく。同様の意見や重要な意見はそれぞれに整理しながら、意見の集約化・体系付けを行っていく手法。

〈イメージ〉



5 会場の配置

新型コロナウイルス対策も含め、6つのグループ（6～7名）を、ある程度間隔をとった配置とする。※資料2参照

第3回 まちづくり市民協議会 まちづくりワークショップ

(令和2年11月12日(木))

ワークショップのテーマ

・光市が目指すまちの姿とは
～未来の我がまちをデザインしよう～

18:40



18:50

①第2回ワークショップ資料の配付、前回提案意見の確認

- ・分野別項目別に体系化した資料を作成し、各参加者には A3 程度のコピーを配布します。

②ワークショップのスタート

■今の光市を採点してみましょう

- ・前回配布した採点表に各グループの分野について、100点満点で何点かを、その理由とともに用紙に記入する。
- ・各自、その点数と理由について、順次グループ内で発表する。

■前回の「魅力(強み)」「課題(弱み)」を踏まえ、光市の未来を語り、言葉にしてみましょう

- ・各自の点数を100点にもっていくために、前回で出された意見を踏まえ、「魅力(強み)をさらに磨きをかけるために」必要なこと、「課題(弱み)を魅力(強み)に変えるために」必要なことを具体的な施策や事業等に結びつくように提案を行い、カードに記入し、拡大資料に貼りつける。
- ・対象とする「魅力(強み)」「課題(弱み)」については、グループ内で話し合い、グループワークを始める前に数点抽出する。
- ・出された提案を踏まえて、各グループの分野ごとに、光市のみらいの姿を、下記のように表現してみる。

“高齢者がいつも●●として、●●にあふれたまちになっています”

【●●グループ】

| 対象魅力(強み) | 魅力(強み)をさらに磨きをかけるために | 対象課題(弱み) | 魅力(強み)に変えるために |
|----------|---------------------|----------|---------------|
| | | | |

光市の未来の姿【】

19:35



19:55



20:00

③検討結果の発表をします

- ・グループリーダーにより、今回の成果を2～3分ずつで説明する。

④事務局あいさつ